

今日からはじめよう！防災対策！

風水害から命を守る

毎年、大雨や台風の接近・上陸等により、全国各地で風水害が発生しています。今年はずでに警戒レベル5「緊急安全確保」が発令された地域も。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。いざというときに自分や家族の命を守るため、ご家庭の防災対策を見直しましょう。

本県で起きた最近の災害は？

令和元年東日本台風(令和元年10月11日～13日)
河川の氾濫などにより死者4名、負傷者23名の人的被害に加え、1万4,000棟を超える住家に被害が生じるなど、県内全域に甚大な被害をもたらしました。

自宅の災害リスクと取るべき行動を確認しよう！

皆さんはハザードマップをご存じですか？自分の住む地域の災害リスクが分かる地図で、市町が作成しています。ここでは、マップを基に確認する「避難行動判定フロー」により、自分や家族が非常時にどのような行動を取るべきかをご紹介します。平時に確認しておきましょう。

避難行動判定フローSTART!

ハザードマップで自宅がある場所に印をつけましょう。**自宅がある場所は、着色されていますか？**(「洪水浸水想定区域」や「土砂災害警戒区域」に指定されていますか?)

いいえ

取るべき行動 自宅で安全を確保

安全な場所にいる人は、豪雨の中、屋外に出るなどの危険を冒してまで避難場所等へ行く必要はありません。自宅等で安全を確保しましょう。
※周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

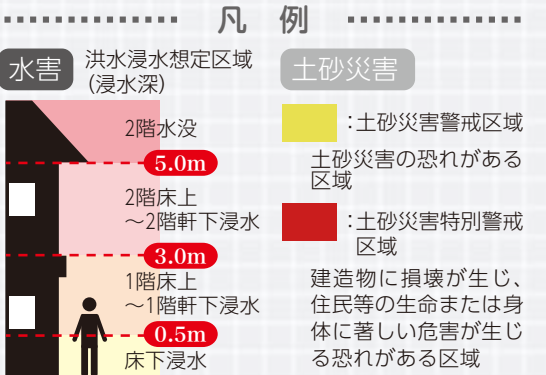
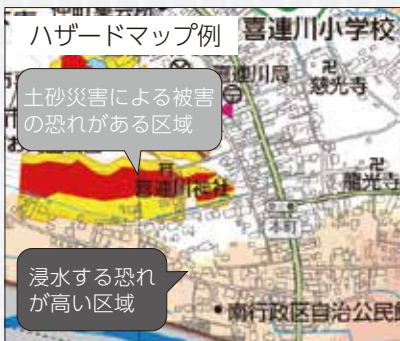
感染症感染拡大防止の観点から、市町が開設する避難場所以外への避難も検討してください。
※平時から相談しておきましょう



ハザードマップ

もっと詳しく

ハザードマップには、以下例のとおり、水害・土砂災害等による被害の恐れがある箇所が分かるよう、地図に着色しています。



▲自宅以外にも住んでいる地域等にどのような危険があるのか確認しておきましょう ※マップの着色や凡例は市町によって異なります

マップ入手先

- お住まいの市町の窓口やホームページ
- ハザードマップポータルサイト など

警戒レベル3または4が出たら

取るべき行動
安全な親戚や知人宅に避難

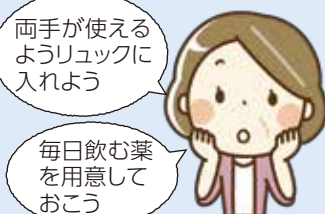
- 車での移動は控えましょう
- 長靴ではなくスニーカーなどの動きやすい靴を履きましょう
- 冠水している道路は通らないようにしましょう。やむを得ず通るときは、杖や棒で足元を確認しましょう

取るべき行動
市町が開設した避難場所に避難

POINT 01 取るべき行動に向けて準備をしましょう!

持ち出す物を準備しておきましょう!

各家庭に必要なものは異なります。自分たちが避難した際に必要になるものは何か、あらかじめ把握し、準備しましょう。



用意する物の例		
●貴重品	●食品類	□タオル
●医薬品等	□水	□ウェットティッシュ
□常備薬	□食品	●各家庭に必要なもの
□マスク	●生活用品	□乳幼児の育児用品
□手指の消毒液	□懐中電灯	□高齢者の介護用品
□体温計	□歯ブラシ	□生理用品 など

赤字は感染症感染拡大防止のためにも必要です

自宅での安全確保においても備えは大切です!

自宅が被災していなくても、電気や水道、ガス、物流等が止まる場合があります。日頃から、食料や水、日用品など、必要なものを準備しておきましょう。普段購入する食品や飲料水を少し多めに買い置きし、消費した分だけ買い足すローリングストックも有効です。



<p>ホームページ SNSを ご活用ください</p> <p>防災・災害情報を掲載</p> <p>県危機管理・防災ポータルサイト</p>	<p>河川の水位情報を掲載</p> <p>とちぎリアルタイム雨量河川水位観測情報</p>
<p>観光・イベント情報等 県の最新情報のほか、防災情報を配信</p> <p>県公式LINE ※防災情報は8月中旬の配信開始を予定</p>	<p>地震や気象などに関する情報を配信</p> <p>県防災メール</p>

POINT 02 市町が発令する避難情報が新しくなりました!

今年5月から、水害・土砂災害について市町が発令する「5段階の警戒レベル」が新しくなりました(本紙6月号でも紹介)。危険な場所にいる場合、高齢者の方や障害のある方、乳幼児のいるご家庭など、避難に時間がかかる方は「警戒レベル3」、それ以外の方は「警戒レベル4」で危険な場所から全員避難しましょう。「警戒レベル5」を待ってははいけません。

警戒レベル	取るべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報(例)	
レベル1	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁が発表)		住民が自主的に避難行動を取るため参考とする情報です(国土交通省・気象庁・県が発表)
レベル2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報等(気象庁が発表)		
レベル3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難(市町が発令)		●大雨警報 ●洪水警報 ●氾濫警戒情報
レベル4	危険な場所から全員避難	避難指示(市町が発令)		●氾濫危険情報 ●土砂災害警戒情報
レベル5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保(市町が発令)	●氾濫発生情報 ●大雨特別警報	

～<警戒レベル4までに必ず避難!>～

必ずこの順番で発表・発令されるとは限りません。これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じたら避難を開始してください

これらの情報は、緊急速報メール、防災行政無線、テレビ・ラジオ、各種防災アプリ等で伝達されます。複数の手段で情報を確認しましょう